

江差消防署 建物火災図上訓練レポート

【北海道消防学校より藪本秀彦氏を講師に迎え開催】

於：平成23年8月19日

江差消防署2階会議室



町内での**夜間火災**(西風風速5m・風下に共同住宅3階建**9世帯に延焼の危険性あり**・家人の逃げ遅れ情報等不明)を想定し、通報・指令・出勤・現地到着・現地指揮本部設置・第2出勤要請等の流れを、**図上シミュレーション**にて行なった。

交通事故想定では、冬季国道・乗用車と観光バス正面衝突・乗用車大破・燃料漏れ・**観光バス横転負傷者多数**・乗用車2名重症でのシミュレーション訓練をした。

2セクションに分け、当直者7名編成想定・2班にて実施。
無線を使用し、実際の指示・情報発信等をシミュレーションした。

現場地図を詳細に設置し、消防車両位置・水利部署確認・放水位置等、**図上では実際の消火活動の位置関係が一目**できる状態。

延焼拡大を予想し、河川等への部署指示・各分団(6・7・8分団)への**出勤要請時期**は適格かのポイントを加えた。



第2班の訓練では、第1班のシミュレーションを事前確認していたため、**幾分円滑な連携**が見られた。

写真中央部奥に見えるのが、**時系列経過を詳細に書きとめる署内通信指令室**想定。
無線を受信し分刻みで書き込む。

署員の飛び交う声を聞きながら、**的確な消火**となり得るか**評価・指導を精査する講師**。
訓練後、問題点を話し合う。



同日、交通事故シミュレーションも実施し、救急車及び1号車出勤・近隣消防への応援要請・傷病者のトリアージ・病院要請・負傷者の待機場所等、**多種多様な判断を瞬時にこなす訓練**となった。

意見交換の場では、積極的な指示・行動のパターンが多数発言され、風向きや先着隊の位置・火災包囲網全体の確認等、より**適確で迅速な消火活動**を協議した。
以後、定期的な図上訓練を実施するまとめとなった。

